

# 春の彼岸と秋の彼岸（日本人の季節感）

暑さ寒さも彼岸まで・・

「暑さ寒さも彼岸まで・・」と言われるように春の彼岸（7日間）、秋の彼岸（7日間）は日本の季節変化を如実に表しています。春の彼岸は長く寒かった冬に終わりをつげ春本番、生物が生き生きする「種まきの時期」です。

秋の彼岸は高温多湿の夏が終わりをつげ、「収穫の時期、冬への備えを始める時期です」

春の彼岸の中日が春分の日、秋の彼岸の中日が秋分の日です。

春分の日・秋分の日は法律により定められ国民の祝日となっています。

2018年の春分の日は3月21日・水曜日で祝日。秋分の日は9月23日・日曜日で祝日、24日、月曜日が振替休日。

■「春分の日」は、「自然(しぜん)をたたえ、生物をいつくむ」日、

■「秋分の日」は、「祖先をうやまい、なくなった人々をしるぶ」日 と定められています

春分の日、秋分の日ともに、太陽が真東から昇り、真西に沈み、昼の時間と夜の時間が同じです。

春分の日以降、昼の時間が日に日に長くなり、夜明けが早くなり、夕暮れが遅くなり、**春から夏の兆しが顕著になります。**

秋分の日以降、昼の時間が日に日に短くなり、夜明けが遅くなり、夕暮れの時間が早まり、**秋から冬へと季節は動きまわります。**

仏教では、お釈迦様やご先祖さまのいる世界<極楽(ごくらく)>を「彼岸(ひがん)」、いま私たちが生きているこの世界を「此岸(しがん)」といい、「彼岸」は、西に位置し、「此岸」は、東に位置するとされています。

**3月の春分の日と9月の秋分の日、太陽が真東から昇り、真西に沈むので彼岸と此岸がもっとも通じやすい日になると考えられ、この時期に先祖供養をするようになりました。**

## ご先祖様への供養と感謝

### 正月

1月1日  
～7日

9℃

### 春の彼岸

3月18日(日)彼岸入り  
3月21日(祝)中日 春分の日  
3月24日(土)彼岸明け

### お盆

7月13日～16日  
OR 8月13日～16日 21℃

### 秋の彼岸

9月20日(木)彼岸入り  
9月23日(祝) 中日 秋分の日  
9月26日(水) 彼岸明け

春の彼岸、秋の彼岸は

■太陽の動き(日の出・日没の方向、昼の時間・夜の時間、季節変化)

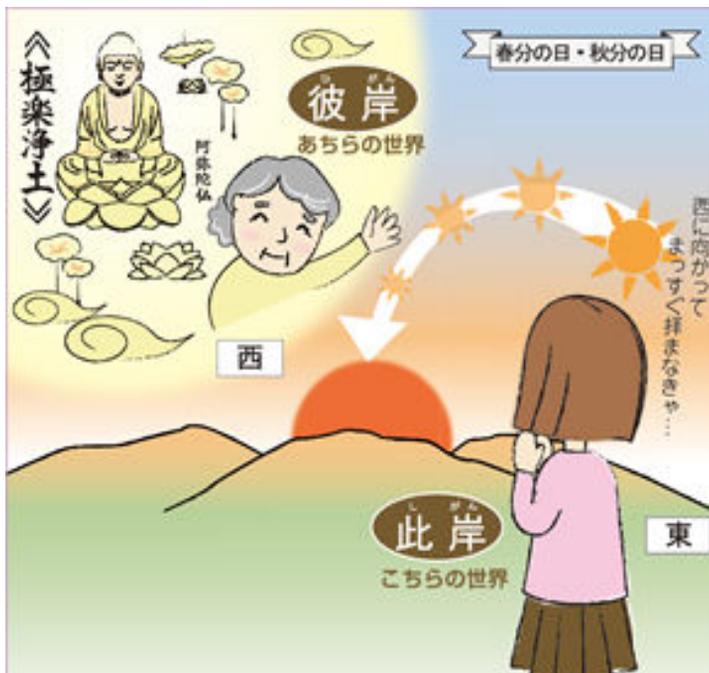
■自然の恵み(農業の種まき・収穫時期)

■仏教の教え(彼岸・此岸、先祖の供養)

が重なりありできた日本独特の季節行事です。

春の彼岸の中日の「春分の日」は、「自然(しぜん)をたたえ、生物をいつくむ」日として、自然の恵みを最優先  
秋の彼岸の中日の「秋分の日」は「祖先をうやまい、なくなった人々をしるぶ」日として先祖供養を最優先している。

神様の世界(彼岸)は西



お彼岸って？

現生の世界(此岸)は東